

2. 事業の概要と成果	
(1) プロジェクト目標の達成度 (今期事業達成目標)	<p>1) 紛争で損壊したニナワ県のトプザワ中学校校舎について、倒壊した特別教室棟を再建し、損壊したままになっていた教室棟や事務室棟の教室、職員室、トイレ等を補修した。補修前は使える教室が少なかったため男子しか受け入れていなかったが、当団体の働きかけで2020年11月29日より共学制とし女子の受け入れが開始され、さらに1年後には男子と女子を午前と午後の時間で分ける2シフト制とするなど、より多くの女子が通いやすい環境が整備された。また、安全で快適な環境が永続的に維持できるよう、同校教員による校舎の維持管理体制を整えることができた。</p> <p>2) 勉強の遅れを取り戻すため、補修した校舎を活用して補習校を夏休みの3か月間開校する予定だったが、新型コロナの感染予防のため、登録した子ども244人に家庭学習用プリントの毎週配布に計画内容を変更した。同様の方法で中学に進学できなかった子ども16人にも学習の機会を提供し大幅に学力を向上させることができた。</p> <p>3) エルビル県の実業高校2校において、PC教室を整備し、1~2年生がカリキュラム通りにPC授業が受けられるようになった。PC研修を教職員にも実施し、授業や事務でのPCの活用が促進された。以上によりプロジェクト目標は達成されたと判断する。</p>
(2) 事業内容	<p>2020年2月以降イラク政府及びクルド政府が新型コロナ感染対策として県境を越えた移動の禁止、研修や集会の禁止措置を発令し、度重なる休校や6月末まで教育省など行政機関の閉鎖等が執行された。そのため、事業全体に遅れが生じ、5か月間の期間延長となったが、実施方法を工夫した結果、プロジェクト目標を達成できた。</p> <p><b>【コンポーネント①学校補修】</b></p> <p><b>1-1 ニナワ教育局・施工業者との調整</b></p> <p>20年3月末までに許可取得・施工開始を予定していたが、行政機関の閉鎖のため3か月遅れ7月7日に許可を得、3者見積もり取得の上、業者を選定し、施工を開始した。</p> <p><b>1-2 学校校舎補修のための施工</b></p> <p>トプザワ中学校は、破損・劣化が進み補修を必要としていたためニナワ教育局と調整の上、事務室棟・教室棟の補修と特別教室棟の瓦礫の撤去を進めた。しかし、本事業開始後、教育局からイラク教育省が定める中学校舎設置基準に基づき、普通教室の他に特別教室5室（化学室、物理室、生物学室、図書室、PC教室）の設置が加えられたため、その再建も要請された。さらに、教育局が第三者の建築専門家に依頼し、専門家が壁面部分の強度をモニタリングした結果、壁面部分の壁や梁、天井に亀裂が入っていることが確認され、このままの状態では崩れるので早急に補強工事が必要との診断が下りた。その為、特別教室棟の工事と壁面の梁・天井の補強工事を追加で実施する変更申請を2021年1月14日に行い、外務省の承認を得た後、これらの追加工事も実施した。以上により、申請時に予定していた工事については、水・衛生関連工事、電気系等関連を含めて、2020年7月7日に開始し同年10月30日に完了した。また、追加の特別教室再建工事については、2021年3月17日に開始し同年7月17日に完了した。</p> <p><b>【補修前】</b></p> <p>2019年10月時点で、140人の男子生徒のみが通っていた。校舎は空爆により建物の一部が損壊、それ以外の箇所も外側はコンクリートがひび割れた状態のままとなっていた。校舎内は窓ガラス</p>

が割れている箇所が多数ある他、トイレや洗面台も破損していた。

工事開始日：2020年7月7日

工事完成日：2020年12月30日

・建築構造物関連

- ① 校舎の壁面補修 200 m<sup>2</sup>
- ② 学校フェンスの補修 1.8m高×50m長
- ③ 校舎内部の壁面修理 400 m<sup>2</sup>
- ④ 校舎外側手すりの補修 0.9m高×30m長
- ⑤ 中庭部分地面のコンクリート貼り 150 m<sup>2</sup>
- ⑥ 金属製ドア設置（教室・事務室部分＝15箇所、玄関＝2箇所、理科室棟＝4箇所）
- ⑦ トイレのプラスチックドアの設置 10箇所
- ⑧ プラスチック製の窓の設置 全43箇所
- ⑨ ガラス窓の設置 40箇所
- ⑩ 階段の補修、設置 1箇所 等

・水・衛生関連工事

- ① トイレの手洗い所の整備 12箇所
- ② トイレ便器の設置 8箇所
- ③ 貯水タンクの設置等 10基 等

・電気系統関連

- ① 屋内照明設備の設置 100箇所
- ② スイッチ付きコンセントの交換・設置 40箇所
- ③ 天井扇の設置 15箇所 等

追加補修

工事開始日：2021年3月17日

工事完成日：2021年7月17日

【建築構造物関連】

- ① 校舎の壁の建設 250 m<sup>3</sup>
- ② 組積工事 100 m<sup>3</sup>
- ③ 各層補強 180 m<sup>3</sup>
- ④ 防水加工 130ml
- ⑤ 床工事 200 m<sup>2</sup>
- ⑥ 屋根の工事 70 m<sup>3</sup>
- ⑦ 廊下の建設 32ml
- ⑧ 鋼窓の設置 50 m<sup>2</sup>
- ⑨ ドアの設置 14カ所
- ⑩ 壁面の石膏塗り 600 m<sup>2</sup>
- ⑪ 床のモザイクタイルの設置 320 m<sup>2</sup>
- ⑫ セメントの強化 130 m<sup>2</sup>
- ⑬ 石灰石を用いた壁の修復 60 m<sup>2</sup>
- ⑭ エマルション塗装 800 m<sup>2</sup>
- ⑮ オイルペイントとエマルション塗装 300 m<sup>2</sup>
- ⑯ 内壁工事 100 m<sup>2</sup>
- ⑰ 傾斜補修 200 m<sup>2</sup>
- ⑱ 雨樋の設置 30ml
- ⑲ 実験用カウンターの建設 20ml

#### 【電機系統関連】

- ① 室内用電気の取り付け 40 個
- ② 電気スイッチの設置 15 個
- ③ 電気出力工事 20 個
- ④ 天井扇の設置 11 個
- ⑤ 外用電灯の設置 5 個
- ⑥ 分電盤の設置 2 個

#### 【梁周りの修復】

- ① 梁周りの整備 8 m<sup>2</sup>
- ② ひび割れの補修
- ③ プラスタリング 8 m<sup>2</sup>
- ④ 梁の補強 6 m<sup>2</sup>
- ⑤ 梁の土台補強 4ml

#### 1-3 完成の確認

事業開始 4 カ月目に完成予定であったトプザワ中学校の補修工事は、11 月 4 日に弊団体エンジニアとバッシーカ教育局局長や職員とともに合同モニタリングを実施して完了した。12 月 15 日には「補修を行った個所を教育局が責任をもって維持管理を行う」といった趣旨を明記した覚書 (MoU) を結んだ。

#### 1-4 ニナワ教育局・学校長との調整

11 月末から 12 月中旬にかけて、校舎維持管理ワークショップ開催に向けて、ニナワ教育局スーパーバイザーと学校長と共にワークショップの開催日程の調整を行った。

#### 1-5 校舎維持管理ワークショップの実施

12 月 5 日に同ワークショップを実施した。新型コロナウイルス感染症対策により、人数を限定して行う必要があったため、スーパーバイザーは参加せず、トプザワ中学校校長、教頭と教員 6 人を対象に開催。結果、校舎維持管理委員会が設置され、同委員会が学校をきれいに保つためのアクションプランを実行した。

#### 1-6 モニタリング&コンサルティングの実施

当団体スタッフとニナワ教育局のスーパーバイザーがワークショップ実施の 1 カ月後に聞き取りによるモニタリングを実施し、アクションプランの 5 項目 (1. 掃除用具の購入、2. リサイクル段ボールのごみ箱活用、3. 生徒への清掃啓発、4. 毎日のトイレ清掃、5. 毎月の校舎清掃) が 100%実施されたことを確認した。

#### 【コンポーネント②学習プリントの配布】

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、学校休校措置等がとられ、「補習校の開校」が困難となったためコンポーネント名を変更、また次の 7 点の変更を行った。(変更報告 20 年 8 月 12 日提出)

- ① 毎週日曜に中学校で登録した子どもに家庭学習用プリントを配布
- ② 新年度の授業との繋がりを考慮し、理科を物理・科学・化学に細分化し計 7 科目の学習プリントを配布
- ③ 教員採用人数を 11 人から 8 人に削減
- ④ テスト実施方法の変更
- ⑤ 生徒・保護者へのフォローアップの実施
- ⑥ 教員へのフォローアップの実施
- ⑦ 新型コロナ感染予防対策

当初の計画では、20 年 6 月から 8 月の予定だったが、9 月から 11 月までの 3 カ月間、プリントの配布が行われた。また、生徒の学力が低いことを危惧した教員らが自発的に週に 1 度の授業を実施し、

対面授業とプリント学習両方の授業が行われた。

#### 2-1 ニナワ教育局との調整

休校措置に伴ってニナワ教育局のサービスが6月末まで停止していたため調整ができず、7月に入って補習校の代替案について教育局と協議を開始し、プリント配布を行うこととなった。

#### 2-2 生徒・教員の募集

8月に行った。プリント配布に変更したため、定員は設けず、必要とする生徒全てに配布した。

#### 2-3 教員採用

8月25日に応募者の中から教員免許、教員経験のある校長1人と教員7人（アラビア語、英語、物理、化学、生物学、社会、算数の教科1人ずつ）を雇用した。計画を補習校からプリント配布に変更したため、清掃活動が不要であったため、清掃員の雇用は中止した。

#### 2-4 生徒登録

プリント配布にあたり生徒登録を行い、中学校年齢だが通えていなかった子どもとトプザワ中学校在校生244人が登録した。学年登録にあたっては自己申告の上、学力試験を行った上で振り分けを行った。

カテゴリー	男子	女子	合計
中学1年生	61人	28人	89人
中学2年生	38人	28人	66人
中学3年生	44人	29人	73人
不就学の子ども	10人	6人	16人
合計	153人	91人	244人

#### 2-5 生徒・保護者へのフォローアップの実施

上述の通り、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、「補習校の開校」が困難となったため、保護者説明会の開催を中止し、同活動へ変更した。

9月6日から11月22日にかけて、登録した生徒に対して毎週学習プリントの配布を行い、生徒が継続的に学習に取り組めるよう、以下のフォローアップを行った。

- 教員の携帯番号を配布し、不明点、疑問点は教員へ質問できる体制を整えた。
- 回収したプリントは教員が採点し、不正解だった部分に解説を加えることで生徒が間違いを理解できるようにした。
- テスト及びプリントを継続して提出している生徒に対して文房具を配布し、生徒のモチベーションの維持、経済的に貧しい世帯でも学習継続できるようサポートした。

また、生徒の学力が低いことを危惧した教員らが自発的に週に1度の授業を希望者に対して実施し、生徒たちの疑問点に適切に回答し、自己学習だけでは補うことができない細かな内容まで教えることができた。

#### 2-6 教員へのモニタリング

上述の通り、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、「補習校の開校」が困難となったため、補習校開校を中止し、同活動へ変更した。

教員が毎週生徒に対してプリント配布を行っているかどうか、モニタリングを行った。

#### 2-7 開校時テスト

9月6日、開校時テストを実施した。参加者数は217人（男子：139人、女子78人）であった。開校時の7科目合計の平均は7.3点にとどまった。

カテゴリー	男子	女子	合計	男子 平均点	女子 平均点	合計 平均点
中学1年生	57人	21人	78人	8点	8点	8点
中学2年生	38人	28人	66人	8点	8点	8点
中学3年生	43人	29人	72人	8点	12点	12点
不就学児	1人	—	1人	1点	—	1点
合計	139人	78人	217人	6.3点	9.3点	7.3点

### 2-8 終了時テスト

11月22日、終了時テストを実施した。参加者数は、12月より学校が再開される見通しが立っていたため、188人（男子：105人、女子83人）に留まった。開校時の全科目平均は54.3点(47点上昇)にまで改善された。

カテゴリー	男子	女子	合計	男子 平均点	女子 平均点	合計 平均点
中学1年生	32人	16人	48人	47点	58点	52.5点
中学2年生	28人	38人	66人	47点	70点	58.5点
中学3年生	44人	29人	73人	44点	46点	45点
不就学児	1人	—	1人	61点	—	61点
合計	105人	83人	188人	49.8点	58点	54.3点

### 2-9 第2回保護者説明会の開催

上述の通り、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、「補習校の開校」が困難となったため、保護者説明会の開催を中止し、2-5の活動へ変更した。

### 【コンポーネント③エルビル県実業学校のPC教育環境整備】

#### 3-1 エルビル教育局・学校長との調整

当初2020年3月に取得予定としていた活動許可は、新型コロナウイルス感染拡大の影響によって5月20日に教育局と校長より取得した。同時に、PC教員配置の要請を行った。2022年度の2校へPC教員の配置を要請し、承認を得たが、教育局は現状新規教員を雇う予算がないため、現在にかけてまだ配置されていない。

#### 3-2 施工業者/PC納入業者との調整

教育局からの活動許可取得後、施工業者とPC納入業者より3社見積もりを取得し、適正な価格を考慮の上、納入業者及び納入価格を決定し、PC（各校21台、計42台）とPC用机椅子（各校30台、計60台）をそれぞれの業者に発注した。

#### 3-3 PC教室補修のための施工

2020年4月に予定していたエルビル商業高校と夜間部職業訓練校のPC教室の補修の開始は、コロナ禍で遅延し、6月29日より開始し、7月16日に完了した。評価確認で5段階評価で5の評価となりニナワ教育局から承認を得た。

#### 3-4 PC、机椅子等の設置

2020年5月から6月にかけて予定していた、机椅子の設置は8月

20日に完了した。PC教室を使用する予定の1年生、2年生は1クラスあたり30人程度いることから、PCは2人で1台使用することで校長と合意をした。机椅子については、1台あたりの費用を抑えることができたため、各校当初の予定より9台多い30台の机椅子を発注することができた。これによって、机椅子の不足を解消することができた。また、PCは夏休み期間中に設置した場合、清掃や管理が行き届かず、適切に維持されないことを懸念し、授業開始が予測されていた9月5日に各対象校においてそれぞれ21台のPCを設置した。

### 3-5 PC教室補修、工事完了の確認

2020年9月8日、施工業者、教育局エンジニア、IVYエンジニアで確認しエルビル教育局と合同でPC教室の補修及びPC、PC用机椅子の設置の完了を確認した。また、PC教室の維持管理は今後教育局が責任をもって管理することを合意する覚書（MoU）を交わした。

### 3-6 教職員へのアンケート実施

当初の計画通り2020年5月27日に下表の通り教職員へのアンケートを実施し、PC研修参加希望、及びPC利用のレベルなどを確認した。参加を希望しなかった11人のエルビル商業高校教職員は1年以内に退職予定であったため、不参加となった。

学校人	PC利用のレベル			研修参加希望者
	PCを使ったことがない	起動する程度	書類作成可能	
エルビル商業高校	16人	1人	13人	19/30人
夜間部職業訓練校	0人	4人	7人	11/11人

### 3-7 教職員対象PC研修の実施

第1回目の研修を2020年6月から7月、第2回目の研修を7月から8月にかけて実施する計画としていたが、この期間中に研修の開催が禁止されていたことから、研修実施日を延期し、感染状況が落ち着き研修実施許可を得た10月に本研修を実施した。当初、エルビル商業高校の教職員18人と夜間部訓練高校の教職員12人（計30人）を対象に21日間（1日4時間×7日間コース×3回）の研修を予定していたが、11人の教職員が新型コロナウイルスの感染状況を危惧して参加を控えたいと回答があった他、今後の政府による感染対策による研修への影響を考慮して、14日間の短期集中型の研修へと変更し10月14日～29日（1日4時間）で実施した。

参加者はエルビル商業高校12人（男性5人、女性7人）、夜間部職業訓練校6人（男性6人、女性0人）の合計18人であった。

研修では、ハード・ソフトの概念説明、PCの起動/終了、タイピングの練習及びマイクロソフト（ワード、エクセル、パワポ、メール、インターネットの基本とブラウザを利用しての情報検索）について学習した。

研修初日と研修最終日にテストを実施し、研修初日のテスト平均が29.7点であったのに対し、研修最終日では平均84.4点に向上した。教職員が、業務や授業でPCを使用する必要な知識を、この研修により身に付けることができたと言える。

### 3-8 PC教室維持管理ワークショップの実施

2020年7月22日、集会が禁止されていたため、エルビル商業高校と夜間部職業訓練校の校長と教頭でPC教室維持管理ワークショ

ップを実施し、PC教室維持管理に向けたアクションプランを策定した。

### 3-9 PC授業のモニタリング（週1回程度）

学校の休校措置が繰り返し取られたが、可能な範囲で実施された両校のPC授業の実績は以下の通りであった。

- ・授業実施時期：2020年12月、2021年4月
- ・エルビル商業高校：2学年合計8回（出席者数：1年生40人/回、2年生50人/回、内容：エクセル）
- ・夜間部職業訓練校：2学年合計6回（出席者数：1年生54人/回、2年生43人/回、内容：エクセル）

実際にPC教室で授業を受けた生徒たちからは「これまで教科書でしか学ぶことができなかつたのが、実際にPCに触れて学ぶことができている嬉しいです」といった声が共有された。

### 3-10 PC教室維持管理状況のモニタリング（月1回）

休校状態が続いていたが、2020年10月から2021年7月にかけて毎月各対象校の校長と共にPC教室の状態を確認した。毎月校長が学校を訪れる際に、当団体スタッフも学校を訪問し、PC教室維持管理ワークショップで作成されたアクションプランの進捗状況やPCに関わる聞き取りを行った。その結果、これまで紙媒体で行われていた業務において、PC研修に参加した全ての教職員がPCを活用しているという報告を受けた。また、PCを使うことによって業務の効率化が進み、教職員も楽しんで仕事をしているといった報告も挙げられた。一方で、課題としてはプリンターインク等の消耗品は教育局による支援も不足する中、学校側では簡単に補充できないため、通常業務や授業へプリンターの使用が優先され、「PC教室の使い方」を印刷して教室に貼るについては、実行されなかった。

アクション	エルビル商業 高校 達成度	夜間部職業訓 練校 達成度	補足
PC 備品が元の位置に保管されている	100%	100%	
「PC教室の使い方」を教室内に貼る。	0%	0%	インク代節約と休校中のため、校長の判断で事業期間中は不要とし作成されなかった。
生徒に、私的利用防止等に関するメッセージを伝える。	100%	100%	
教育局へ学校の電力安定に向けた要請を行う。	100%	0%	夜間部職業訓練校は事業期間中、電力問題に直面せず未実施。
PCが足りない場合、2人1組でPCを使うよう指示する。	100%	100%	
毎週掃除す	100%	100%	

	<p>る。</p> <p>3-11 教職員へのフォローアップ（週1回程度）</p> <p>PC研修後も、Whatsatppを活用し、教職員から質問があった際には研修担当講師に回答してもらう体制を整えた。また、長期にわたって休校状態が続いていたものの、毎週校長に対してPC授業の実施予定や教職員のPCを使った業務状況を確認するなど、フォローアップした。</p>
<p>(3) 達成された成果</p>	<p><u>コンポーネント①</u></p> <p><u>成果</u>： 紛争で損壊したニナワ県トプザワ村の中学校校舎について、倒壊した特別教室棟を再建し、損壊したままになっていた教室棟や事務室棟の教室、職員室、トイレ等を補修した。補修前は使える教室が少なかったため男子しか受け入れていなかったが、当団体の働きかけで2020年11月29日より共学制とし女子の受け入れが開始され、さらに1年後には男子と女子を午前と午後の時間で分ける2シフト制とするなど、より多くの女子が通いやすい環境が整備された。また、安全で快適な環境が永続的に維持できるよう、同校教員による校舎の維持管理体制を整えることができた。</p> <p><u>指標1</u>：トプザワ村の子どもたち320人以上が補修されたトプザワ中学校に通う。</p> <p><u>指標の達成度</u>：当団体よりバッシーカ教育局に女子の受け入れを要請したところ、局長より「同校における女子の受け入れを速やかに行う」と口頭で約束を得て、2020年11月29日の新学期開始時より女子の受け入れが開始された。</p> <p>2021年7月時点で同校には182人（男子140人、女子42人）が登録した。度重なる休校措置によって通学を躊躇する家庭があったこと、共学制（クラスは男女別）であることから女子生徒が学校に通いにくいといったことが原因となり、校舎の補修により320人を受け入れることは可能だったが、指標である320人には届かなかった。そこで、女子生徒がより通いやすい環境を作るため、当団体が教育局と話し合いを行った結果、2021年11月の新学期からは男子生徒と女子生徒を午前と午後の時間で分ける2シフト制を導入することを決定した。これにより女子の登録が進み、また男子も村外の学校ではなく補修したトプザワ中学校に通学するようになってきており（2022年2月時点男子193人、女子102人、合計295人登録）、2022年秋のアカデミックイヤーでは当初の目標320人に達する見込みである。</p> <p><u>指標2</u>：BOQに基づき補修工事が完成しているか、弊団体エンジニアで評価確認を行い、5段階評価で5の評価を得た上で、ニナワ教育局による承認を得る。</p> <p><u>指標の達成度</u>：当団体エンジニアの評価確認で、5段階評価で5の評価となりニナワ教育局から承認を得た。</p> <p><u>指標3</u>：ワークショップを受けた教員が校舎設備の維持管理に関するアクションプランを作成し、当団体スタッフがモニタリングすることよりアクションプランの実行率が70%以上となる。</p> <p><u>指標の達成度</u>：5項目のうち5項目（100%）達成された。</p> <p><u>理由</u>：教育局や保護者ではなく、学校が自らが改善に向け動かなくはならない課題をアクションプランとして策定したこと、また、校長自身が、学校課題の改善に熱意を持っており率先して取り組んだことが理由としてあげられる。</p>

	<p><u>コンポーネント②</u></p> <p><u>成果</u>：勉強の遅れを取り戻すため、補修した校舎を活用して補習校を夏休みの3か月間開校する予定だったが、新型コロナの感染予防のため、登録した子ども244人に家庭学習用プリントの毎週配布に計画内容を変更した。同様の方法で中学に進学できなかった子ども16人にも学習の機会を提供し大幅に学力を向上させることができた。</p> <p><u>指標1</u>：トプザワ村の中学校就学年齢の子どもたち160人以上が7教科の学習プリントを毎週受け取る。</p> <p><u>指標の達成度</u>：233人が配布された7教科のプリントを受け取り、自宅学習を行った。また教員が毎回不正解には解説をつけて返却するなどフォローアップにも力を入れた。</p> <p><u>指標2</u>：開校時と閉校時に行う比較テストで、平均点が開校時を上回る。</p> <p><u>指標の達成度</u>：開校時と閉校時に行った比較テストで、平均点が開校時よりも47点上がった。</p> <p><u>コンポーネント③</u></p> <p><u>成果</u>：3) エルビル県の実業高校2校において、PC教室を整備し、1～2年生がカリキュラム通りにPC授業が受けられるようになった。PC研修を教職員にも実施し、授業や事務でのPCの活用が促進された。</p> <p><u>指標1</u>：PC教室の補修工事がBOQに沿っていることを、エルビル教育局エンジニアと当団体エンジニアで確認し、5段階評価で5の評価を得る。</p> <p><u>指標の達成度</u>：5段階評価で5の評価を得た。</p> <p><u>指標2</u>：整備されたPC教室で、1～2年生の全クラスにPC授業がカリキュラム通りに週3回ずつ行われる。</p> <p><u>指標の達成度</u>：2校とも1～2年生全クラスに週3回ずつ整備されたPC教室で授業を行うことができた。</p> <p><u>指標3</u>：PC研修を受講した教職員全員が授業や事務にPCを使い始める。</p> <p><u>指標の達成度</u>：PC研修を受講した教職員全員18人全員が、授業や事務にPCを使い始めた。</p> <p><u>指標4</u>：幣団体スタッフがPC教室の維持管理についてPC教員、校長、教頭にモニタリングを行い、アクションプランの実行率が70%以上となる。</p> <p><u>指標の達成度</u>：当団体スタッフがPC教室の維持管理について校長、教頭にモニタリングを行い、アクションプランの実行率が71.4%となり指標は達成された。</p>
(4) 持続発展性	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. バッシーカ教育局が最終承認まで関わり、また工事完了後の維持管理責任も含めた引き渡し書の内容を含めたMoUを締結することにより、補修工事を行った学校設備の維持管理責任を学校及び教育局が継続して行うことが確認できた。</li> <li>2. 維持管理のワークショップを通じて、学校内に教員が参加する維持管理委員会が設置され、今後は委員会で課題について解決方法を話し合っていくことで、教員が主体となり校舎の維持管理・清掃活動が継続されることが期待される。</li> <li>3. PC研修に参加した教職員が業務や授業をPCを使って行ってい</li> </ol>

る。今後業務や授業への活用が一層進み、卒業生の就職向上にも寄与することが期待される。

4. 校長がPC研修に他の教職員といっしょに参加することで、教員との距離が縮まり、校内の団結力が増したので、今後のPC教育及び学校設備維持管理においても活かされることが期待できる。

(ここでページを区切ってください)